

熊野新聞

The Kumano Shimbun

2018年 11月28日
(平成30年) 水曜日／赤口

発行所 熊野新聞社

本社 〒647-0045 和歌山県新宮市井の沢3-6
営業部 TEL 0735-22-8080 FAX 0735-23-2246
記者室 TEL 0735-22-8325 FAX 0735-28-1125
E-mail info@kumanoshimbun.com
Web https://kumanoshimbun.com

青い海・みどりの山・大切な地元
新宮信用金庫

高台目指し一緒に避難

城南中、王子ヶ浜小と王子幼が合同で

新宮市

新宮市立城南中学校（中田善夫校長、生徒179人）、王子ヶ浜小学校と王子幼稚園（山本眞也校長・園長、児童355人、園児21人）は26日、合同避難訓練を実施した。幼稚園の参加は初。地震発生放送を聞いた園児と児童、生徒らは身を守る行動をとった後、高台を目指して避難路を駆け上がった。

東日本大震災と同規模の地震による家屋倒壊の危険性と津波を想定し、児童生徒が安全かつ迅速

に避難できるようにとり組んだ。幼小中が合同で訓練を行う姿から校区の防災意識の高揚を図る

狙いもある。小学生は建物の倒壊の恐れがある場合や校外活動中に被災した場合、柔

軟に判断し、より高い所へ逃げるといった危機意識を養う目的。中学2年生が小学1年生の、中学3年生が幼稚園児の避難を補助した。

震度6強の地震を想定し、揺れから身を守る行動を取った児童生徒らはそれぞれ避難を開始した。中学2、3年生は王子ヶ浜小付近での校外学習中に地震が起こったという設定で、園児や児童と合流。東仙寺を通り、

海抜17・7メートルの近畿大学附属新宮高校・中学校のグラウンドへ避難した。訓練には新宮警察署、

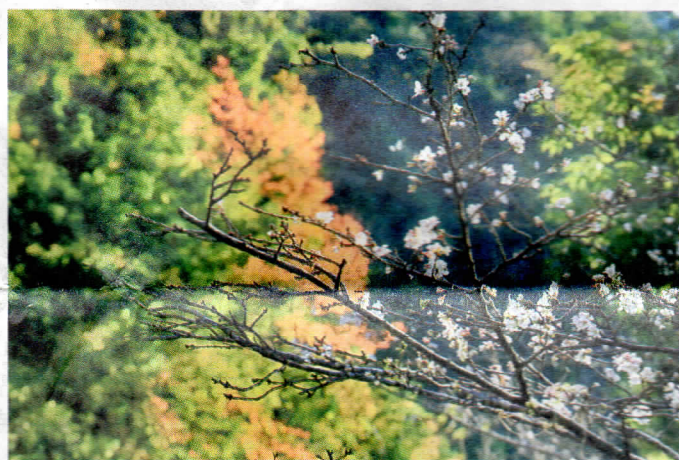
新宮消防署、市役所、保護者、地域住民やボランティアなどが協力した。集合した子どもたちを前に市防災対策課の北和敬

さんは「みんな先生の言

高台への道をたどる中学生と幼稚園児ら
＝26日、新宮市新宮

紅葉を背にサクラ咲く

新宮市熊野川町



新宮市熊野川町を流れる和田川沿いで季節外れのサクラが開花している写真。

秋に咲くサクラはこれまでにも見かけたことがあるが、今年は特に多い。原因は日本を襲った台風24号などの強風や塩害で葉を落としてしま

い、サクラの花芽に成長を抑制するホルモンが送られないからだという。周囲は赤や黄色の紅葉に包まれており、その中に咲くサクラの花。少し違和感があるがそれもまた風情であり、美しい。

（早山信武）

うことをよく聞いてちゃんと避難できていたと思う。危ないところもあったと思うが、落ち着いて避難してください」と呼び掛けた。

山本校長は東京大学特

任教授の片田敬孝さんの言葉を紹介し「津波が起こっても怖がることはない、することはただ一つ。ただただ逃げること。それにつぎ。自分の命は自分で守りましょう」と訴えた。

（孫入麻衣）